

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

レジメン名 NHL2 R-CHOP

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
リツキサン	リツキシマブ	-	375mg/m ²	div	DAY1	下記参照	21-28日間
エンドキサン	シクロホスファミド	CPA	750mg/m ²	div	DAY1	1.5時間	
ドキシソルビシン	塩酸ドキシソルビシン	ADR	50mg/m ²	div	DAY1	15分	
オンコビン	ビンクリスチン	VCR	1.4mg/m ² (MAX2mg/body)	div	DAY1	15分	
プレドニン	プレドニゾロン	PSL	100mg/body	po	DAY1-5	-	

R-CHOP

2回目以降【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注
- ② NS 500ml + リツキサン mg /100ml/hrから開始
投与速度: 30分毎に 100ml ずつ上げる(200ml/hr → 300ml/hr → 400ml/hr)
- ③ NS 50ml + グラニセトロン 1A / 15分
- ④ NS 50ml + ドキシソルビシン mg / 15分
- ⑤ NS 50ml + オンコビン mg / 15分
- ⑥ NS 250ml + エンドキサン mg / 1.5時間
- ⑦ NS 50ml / 全開

< 調整方法 >

リツキサンは 1mg/ml となるように生理食塩水(5%Tzも可)で希釈する。(10倍希釈)

輸液バックは緩やかに混和する。振とうにより泡立つと抗体凝集がおきる。

< 備考 >

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ リツキサンはフィルター(0.2 μ mのインラインフィルター:テルモ)使用可能。
- ⑥ ドキシソルビシン:累積投与量依存的に心筋障害の発生頻度上昇。総投与量500mg/m²。
- ⑦ ドキシソルビシン:壊死性抗がん剤であるため、血管外漏出に注意。

H26.11.18 作成

H27.10.1 改訂